

秋田県横手市

よこて fun 通信

横手をもっと身近に、もっと楽しむ 交流情報紙



TAKE FREE 2017.9 vol.9

横手に戻ることを決断し、Uターンした方々があります。
転職への不安と期待、慣れ親しんだ故郷の暮らしで得る安堵感。
Uターンをした先にある現実、暮らし、夢とは？

と決めた日。

一度は故郷を離れるも、横手に戻って転職した方がいます。Uターンは新たな人生のスタートラインであり通過点。転職後の現状やその先に見ている未来を教えてくださいました。

神谷 恵里さん

かみや えり / 32歳 / 横手地域在住(三又建設株式会社 総務部勤務)



仕事の楽しさは
見つけるもの!

接客業から事務職に転職した現在。「仕事のやりがいや喜びを見いだすのは自分の気持ち次第」と、前向きに取り組んでいる。

自分らしく 横手暮らしを 楽しんでいます。



横手の魅力を
再発見していきたい



憧れを実現

横手高校を卒業後、新潟大学に進学し教育関係の心理学を専攻。大学3年生のときに北海道大学へ編入した。「小さい頃から北海道への憧れが強かったんです。いつかは北海道に住みたいと思っていました。なので、一旦は新潟大学に進みましたが、どうしても諦めきれなくて。北海道(札幌市)で心理学を学ぶことを決めました。そのときは北海道に永住するつもりでした」と、振り返る。その後、札幌市内の一般企業に就職。接客に携わり数年が経った頃、「仕事は楽しいけれど、もっとじっくりお客様と話りたい」と思った。同時に「生まれ育った場所に戻りたい」と、心がふるさとを欲していた。帰省する度に感じていた自分らしくいられる場所の存在。ふるさとに流れる風のおい、自身を包む空気の心地よさがUターンへの思いを強くさせた。恵里さんは、「今でも札幌は好きです。ただ、私にとって、住むところ、ではなかったのかも。今思うと、いつも自分を『作っていた』ように思います」と、当時を振り返る。

戻るスイッチ

「横手に戻る」という計画を実現するため、一番始めにしたのは就職活動だった。ちょうど市内の温泉宿の求人募集を見つけて「これだ!」と思ったという。すぐに面接に向き採用が決定した。「不安というよりは、このタイミングを逃すまいと思えました。戻るスイッチが入ったんだな」と。温泉宿では心を尽くした接客に磨きをかけていった。しかし、約3年半が過ぎた頃、温泉宿が廃業。温泉宿の関連会社である現在の会社に再就職し、総務部に勤務している。人材育成と地域の元氣創造に力を入れている今

の職場にやりがいを感じているという。

当たり前という尊さ

Uターンして約7年。日々の暮らしの中で改めて気付いたこと。それは、食の豊富さ、旬の味わいをいただけること、ぜいたくさだという。「今の季節だと完熟トマトや新鮮なキュウリが食卓に並びますが、その幸せが当たり前ではないということが、地元を離れたことで身にしみました」。さらに、他地域で暮らした経験から、「どこかと比べて、無いものを挙げてみてもキリがありません。市内の飲食店やイベントなど行ったことのない所はたくさんあります。無いのではなく、気付いていないだけ。先に話した旬の味と同じで、存在が当たり前すぎて地元の良さに気付かなくなってしまうのが、一つひとつ再発見していく喜びでもあります」と、横手への愛着や自身の想いを伝えようと丁寧に言葉を紡いだ。

Uターンを考えている方へ

「戻るといよりはリスタートのイメージですね。横手を離れて見えたものや得た経験は無駄ではありません」と強調する。その上で、「何で戻りたいのか、何をしたいのかを具体的に想像してみることです。どんな小さなことでも何かひとつ行動することで風向きは変わります」と。

「横手を、住んで楽しい街」にしていきたい」とも話す。「もちろん、今も楽しいですよ(笑)。今以上にという意味です。それにはまず、住んでいる私が横手を楽しむことが必要!と、好奇心あふれる笑顔をみせた。変わっていく横手と、変わらない横手をしっかりと見つめていきたいと話す恵里さん。ふるさとを支え、発展させる一人としてこれからの活躍にも期待したい。

「こーがスゴイぞ!」
移住サポート

市では、移住、Uターン就職・転職を考えている方をバックアップする政策があります。左記は一例です。参考にしてくださいね。

横手の最新の求人情報が
ネットで検索できます!



「横手JOBナビ」は、横手で就職を考えている方は必見のサイトです。市内企業の求人情報が随時更新されます。
(HP) <http://job.yokonavi.net/>



横手で
起業したい!



「横手市起業家発掘事業」を実施しており、横手市に無い仕事を作り出す起業家へ起業補助金、安価なオフィスの提供を行っています。
横手市商工観光部 商工労働課
TEL.0182-32-2115

農業を始めた
皆さんを応援します!



農業を始めたいという方に向けて、農業経営や栽培技術を身に付けるための研修制度、農業経営を開始するための助成制度などで支援しています。
横手市農林部 農業振興課 TEL.0182-32-2112

私が故郷に戻る

内藤 和洋さん

ないとう かずひろ / 36歳 / 増田地域在住(農業)



笑顔いっぱい
毎日に感謝!

(写真左より)妻・由子さん、
長女・莉心ちゃん(3歳)、
長男・蓮之介くん(1歳)、和洋さん。



作物を育てる喜びを 実感しています。

就農して4年、
まだまだ勉強中です



横手への思い

結婚を機にUターンをして4年目。現在、増田地域にある妻の実家で水稲やサクラノボの栽培など農業を営んでいる。横手工業高校を卒業後、すぐに愛知県大手自動車メーカーに就職。会社では、自動車塗装機械の整備士として海外にある工場での技術指導も任されるなどキャリアを積んできた。自らの能力を生かせる仕事で、やりがいや喜びを感じていたものの、「いずれは横手に戻りたい」という思いを持ち続けていたという和洋さん。しかし、なかなか上司には相談できずにいた。その思いを実現するきっかけとなったのが「結婚」だった。「結婚を機にUターンしたのは、自分にとって最善のタイミングでした」と当時を振り返る。

農家へ転身

整備士から農家へ「不安や葛藤が無かったと言えは嘘になります」と話す和洋さんでしたが、「結婚を視野に入れたお付き合いの中で、妻の実家が大きな農業農家なので、農家を手伝う、引き継ぐという気持ちで自然と固まっていたような気がします。不安を払拭させるだけの魅力が妻にあったということでしょう」と照れ笑いをみせる。「農業はその時の天候にも左右され、難しさを感じていますが、その分、自分で育て、出来がいい時はやりがいを感じます」と日々の作業に精を出している。今後については「農業の知識や作業スキルがある程度身に付いたら、経営にも携わりたいと思っています。農業も時代に合わせて、そしてちょっとだけ時代の先を行く体制づくりに挑戦してみたい」と、将来に向けての希望を語る。

リフレッシュできる環境

戻って感じたのは、地域の絆の強さ。地元とはいえ10年以上離れていたため、地域住民とのコミュニケーションに慣れるのに時間がかかったという。「JA稲作部会や青年部、地域の草刈り作業などいろんな「集まり」があります。どちらかといえば引込み思案の私は、Uターンした際の頃、輪の中になかなか入れず苦労しました。しかし、一歩踏み出した今はいろんな方々に会えることで多様な考え方にふれることができ、近所付き合いの頼もしさを感じています」と、これこそが横手暮らしの良さだと実感しているという。さらに、「愛知にいたときは、会社の人との付き合いがほとんどでした。休日に会うと、どうしても仕事の延長に感じてしまっって息苦しさを感じたこともありました。今は友達と会うとき、仕事仲間との付き合いと、メリハリのある生活ができていることも精神的にリフレッシュできているのだと思います」と、穏やかな笑顔を見せた。

Uターンを考えている方へ

「少しでも横手に戻りたいという気持ちがあるなら、帰郷すべきだと思いません。あの時に戻ってればと後悔するよりは、晴れやかな人生が待っているはずですよ!」と、自身も悩んだ経験があるからこそ心強い言葉で背中を押す。毎年9月に地元で開催される増田の花火大会のときは、自宅に親戚が集まり花火を眺めるのが恒例となっている。にぎやかで温かい家族、やりがいのある仕事を横手で築いた和洋さん。横手暮らしを満喫しながら、夢の実現に向け挑戦の日々が続く。

横手で着々と足元を固めつつあるお二人。Uターンでの苦労や現在の状況などリアルな声はいかがでしたか?市では、さまざまな支援で「横手で暮らしたい」という方のサポートをしています。詳細は市のホームページ、または右記の担当窓口にお問い合わせください。



子育ての協力的な
助っ人がいます!

横手市児童センターでは、市内の子育てにかかわる多くの情報を得ることができます。育児相談や子どもの家庭環境についてなど、なんでもご相談いただけます。(Y²ぶらざ2F)
横手市児童センター TEL.0182-32-2426



子育てに関する
情報が集約する

『横手市子育て情報サイト』はくはくには、妊娠・出産・助成・支援など、子育てに関する情報が集約されています。
(HP)<http://www.haguhagu-yokote.jp/>



【横手市移住促進空家リフォーム補助金】
横手市への定住を目的に市内の空家を購入し県外から横手市に転入される方、または転入された方を支援するため、空家のリフォーム工事にかかる費用の一部を助成します。
横手市総合政策部 経営企画課 TEL.0182-35-2164

横 手 の チ カ ラ

ホップ農家 小棚木 裕也さん

こたなぎゆうや/25歳/大雄地域在住
高校卒業後、群馬県で就職。翌年帰郷し、地元・大雄振興公社へ勤務。そこで約5年間ホップ栽培に携わった経験を活かし、2016年就農。ホップ栽培6年目、就農2年目という新進気鋭の若手農家。20種類のホップ栽培のほかエダマメなども栽培。



香り豊かなホップをつくり、「横手市」を世界へ発信!

横手市大雄地域は、国内でも屈指の上質ホップの産地ということをご存知の方も多いと思います。「キリン一番搾りプレミアム」など、ほぼ全量がキリンビールに使用されています。このホップの里で新たな可能性に挑戦しようという奮闘している若手農家がいます。

木内酒造 世界の「常陸野ネストビール」との出会い

小棚木さんが育てたホップの全量が茨城県那珂市の木内酒造へと出荷されています。取引のきっかけとなったのは、大雄振興公社勤務時代に携わった、木内酒造のクラフトビール「常陸野ネストビール」用ホップの試験栽培。横手市と友好都市である縁から携わったこの業務を通じてホップ栽培への手ごたえを掴んだ小棚木さんは「ホップで地域を元気にしたい」と、就農という大きな一歩を踏み出しました。

就農1年目の昨年、自らの手で生産した収量約70kgのホップは、木内酒造から「常陸野ネストセッシュンIPAフレッシュ20」として商品化され、アメリカ・サンフランシスコで販売されました。今年も、この夏収穫したばかりのホップを使った商品が9月下旬に販売される予定です。「商品の製造量・流通先が限られるので、秋田

県内や国内で手に入らないのが残念です。来年は圃場を現在の50アールから80アール以上に拡大しますし、将来的にはホップの品種ごとに商品が造られるよう収穫量を増やしていきたいと思っています」と意気込みます。

「絶対やりたくなかった」農家コンプレックスの過去

ゼロの状態からホップ栽培を始めたのかと思いきや、祖父の時代からホップ農家という系譜の持ち主。「家族の大変な姿も見てきたし」「農業なんて絶対やりたくない」と思っていました(笑)と、以前は農家にコンプレックスを抱いていたことも。しかし、ホップ栽培をしながら、家のエダマメ栽培に取り組みうちに農業の楽しさに目覚めたといいます。「自分が作ったエダマメをおいしいと食べてくれた周囲の声を聞いて、作物がかわいらしく見えてきて、苦勞が喜びに変わりました。エダマメもホップも、手をかけるほど良いものができるの分かります」と、農業の魅力を話してくれました。

今季の収穫を終えたこの秋、小棚木さんは来季の圃場面積拡大のため、苗づくりや移植作業を行う予定。自慢のホップの圃場拡大とともに、「いずれは法人化したい」という大きな夢も育てています。

4〜5メートルほどの高さまで成長するホップを管理するのが一苦勞。高所に咲く花が病気になっていないかなど、隅々まで目を行き渡らせています。

摘み取ったばかりのホップを二つに裂くと、中心部からは目が覚めるほど華やかなアロマが感じられる。「ビールとしていただく瞬間はさぞ芳醇に香るだろう」と、想像力を掻き立てられる。



どっちも「うまい」一杯です!



大雄産ホップが使われているキリン商品。世界約50ヶ国に輸出されている木内酒造のネストビール。写真左より「常陸野ネスト ホワイトエール」、「常陸野ネスト ニッポニア」。

(株)宮腰デジタルシステムズ 野球部 仕事と野球の両立で狙う、全国大会ベスト8以上!



株式会社 宮腰デジタルシステムズ
(株)宮腰デジタルシステムズは、産業用印刷機や関連機器の設計・製造・販売・保守までをトータルに展開する総合印刷機械メーカー(株)ミヤコシ(千葉県)のグループ工場。個別対応が必要な印刷物に適した、デジタルオンデマンド印刷機を製造しています。
◆住所/横手市大雄字高津野111 TEL.0182-52-3854
◆設立/昭和48年10月 ◆従業員数/224名
(HP)http://www.miyakoshi.co.jp/

- 野球部の主な成績**
- 平成19年:あきた国体 軟式野球競技で総合優勝した秋田県選抜チームに6名選出
 - 平成25年:東京国体出場
 - 平成27年:天皇賜杯全日本軟式野球大会(三重県)出場
水戸市長旗東日本選手権出場
 - 平成28年:いわて国体出場
秋田県軟式野球連盟選手権大会優勝(平成26年から3連覇中)

軟式野球部が発足し40周年という節目の年を迎えた、(株)宮腰デジタルシステムズ。入社には野球部枠もあり、野球による入社テストが毎年行われている。現在、本気で野球をやりたいという若者18名が在籍。県外市外出身者も多い。会社の支援も厚く、毎日思いつきり野球に打ち込むことができる。

なぜ、このような環境が実現したのか。それは現会長の宮腰慶氏が、宮腰会長は「野球部に常に優勝という結果を求めるのはもちろんですが、それ以上に社内にあつては挨拶、礼儀、仕事への姿勢など社員の模範であつてほしい」と思っています。試合や厳しい練習で培ったものを仕事や社内でも発揮してもらおうと、会社全体の元気につながるものと信じています」と、野球部への期待を話してくれた。

野球ができる人への感謝

高田峰明監督は、「攻守交代を『大人の野球でもこんなに走るのか?』というくらい全力で行います。選手全員が全力疾走でベンチに戻ってくる。これは当部の伝統です」と、会社の名を背負っている企業チームという意識がプレー以外の動作にも表れている。「このようにすべての部分での真剣、全力プレーは、相手にもプレッシャーを与え、少なからず勝利にも影響しているのでは」と監督は話す。

部員全員が共有しているのが「野球ができることへの感謝の気持ち」だ。集中して野球の練習ができる就業環境、それを理解し支えてくれる家族の存在。そのすべてに感謝する気持ちを忘れず、そして、しっかりと結果を残すことが恩返しになると信じて練習に励んでいる。また、地元の子どもたちと野球教室を通じて交流するなど、地域の方々に愛される存在としてさらなる成長を遂げている。

チームの勝利のために自分がやれることを

現在、課題として取り組んでいるのは、「チームの勝利を個々がどれだけ強く意識できるか」ということ。監督は、「出塁時、塁から大きく離れるリードをしてプレッシャーを与えることを徹底しているが、これはアウトになる危険が伴い、体力、気力を使う。でも、チームの勝利のためには必要なプレー。時にはヒットを打つより、自分を犠牲にし仲間を生かす泥臭いプレーを厭わずできることも求められる。皆が一丸となつて勝利を目指すチーム力を養っていきなさい」と、話す。

目標は、「最も権威ある全国大会と言われている天皇賜杯でのベスト8以上」と、監督。応援してくれるすべての方の思いにこたえ、そしてチームの歴史に新たなページを刻むべく、日々練習に励んでいる。宮腰チームの今後の戦いに注目と声援を送りたい。

県外&市外から入社した理由とは!?



野球部副キャプテン
佐藤拓未さん/26歳
(秋田県羽後町出身)



野球部副キャプテン
後藤雅貴さん/25歳
(山形県寒河江市出身)

高校卒業後も野球を続けたい、強いチームで野球がしたいと思いついた。入社した理由は、全国大会ベスト8以上です。

大学時代の先輩が宮腰に入社して進めてもらいました。副キャプテンとして、キャプテンのサポートもしていきたいと思っています。

がんばる横手人

よこてびと

第5回



小川 千帆さん

おがわ ちほ / 44歳 / 東京都在住(横手市十文字地域出身)
横手城南高校卒業。高校時代より社会人や同年代とバンドを組み演奏活動を行っていた。高校卒業後、上京し就職。5年後、横手へUターンし、地元で美容師をしながら「BRONZE道心」のメンバーとしてバンド活動を行う。2010年「44thスイス・モントルーJAZZフェスティバル」出演。同年「秋田県イメージアップ貢献者表彰」受賞。現在はソロとして、主に都内や秋田でライブを開催。首都圏十文字会役員。

秋田から全国、そして世界へ 音楽を届けるサクソフ奏者

幼い頃、カセットテープから聞こえてきた曲を覚え、夢中になって歌った。小学生になると時間も忘れピアノを弾き、高校生の頃には音楽仲間とともに念願だったバンドを組んだ。全身で音楽を奏で、表現し、聞く者の心へ音色を届ける。かつての音楽少女は今、サクソフ奏者・CHIHOOとして全国、海外で演奏活動を行なっている。

「聞いてくれる一人一人の心の深いところまで響く演奏をしていきたい」。そう話す彼女の演奏は時に力強く、時に繊細。そのサクソフ奏法と表現力はすべて独学で身につけたもの。秋田で活動していた当時は数々のライブでの演奏のほか、国民文化祭あきた2014にも出演。東日本大震災の被災地ではその音色で人々

を元気づけてきた。2015年のソロ転向後、ベラルーシ共和国や北京で招聘演奏・レクイエム演奏を行うなど世界へ活動の幅を広げている。「ソロになったことで、自分のやりたい音楽、見たい世界へ自由に飛び込んで演奏できるようになりました」。今年3月には、再びベラルーシ共和国・ゴメリ州でレクイエム演奏を開催。祈りを込めた切ないメロディーを奏でた。「演奏とトークで、ライブに来た方が一歩前に踏み出せる、若い人に何かプラスになるような、そんなライブを作っていきたいと思います」と今後の活動にも意欲を見せます。



ソロ初CD「Night of Snow」1,100円(税込)
※CHIHOOホームページより購入できます。
(HP) <https://chihosax.amebaownd.com/>

実りの秋、到来！ 収穫体験しませんか？

リンゴやブドウの収穫体験ができるスポットをご紹介します。もぎたての新鮮なフルーツを味わおう！

ブドウ 長瀬観光ぶどう園 (横手市山内)

キャンベル、スチューベンなど数種類のブドウの収穫体験ができます。軽食も販売しているので、ブドウ棚の下で「いものこ汁」を味わうことができます。

- ◎時期 / ~9月下旬まで ◎時間 / 9:00~16:00
- ◎入園料 / 大人300円、子ども150円
- ※もぎ取り料は別途(1kg: 中粒600円、大粒1,200円)
- ※ブドウのほか、いものこ汁(350円)、おにぎり(2個 200円)などの販売もしています。
- ◎問 / 横手市山内地域課 TEL.0182-53-2111



ブドウ 中村農園 (横手市山内)

巨峰やスチューベン、ナイアガラ、藤稔など種類豊富なブドウの収穫体験ができます。

- ◎時期 / 9月中の土・日曜日※要予約
- ◎時間 / 9:00~16:00
- ◎入園料 / 無料 ※もぎ取り料は別途
- ◎申込・問 / 中村農園 TEL.0182-53-2426

ブドウ まるさんぶどう園 (横手市)

園内のブドウが食べ放題です。もぎ取ったばかりのフレッシュでみずみずしいブドウを味わって！

- ◎時期 / 9月上旬~10月上旬
- ◎時間 / 9:00~16:00
- ◎入園料 / 大人400円、子ども200円、小学生以下無料
- ※もぎ取り料は別途
- ◎申込・問 / まるさんぶどう園 TEL.0182-32-4085

リンゴ 小松谷果樹園 (横手市平鹿町)

リンゴの木のオーナー制度がある小松谷果樹園。1本の木から約300個のリンゴが収穫できます。

- ◎時期 / ~10月
- ◎入園料 / 無料 ※もぎ取り料は別途
- ◎申込・問 / 小松谷果樹園 TEL.0182-25-4624

リンゴ 野田りんご園 (横手市増田町)

つがる、とき、やたか、シナノスイート、シナノゴールドなどさまざまな品種を栽培している果樹園です。収穫体験の際は問い合わせください。

- ◎時期 / ~10月末
- ◎体験料 / 1個100円~
- ◎申込・問 / 野田りんご園 TEL.090-2794-7485



平成29年9月~11月 横手市のイベント情報

※詳細は今後、市HP等でお知らせいたします。

第31回いものこまつりin鶴ヶ池(第29回花火大会)

山内地域特産の「山内いものこ汁」を食べながら、全国いものこピラミッド競技大会などたくさんのイベントが楽しめます。夜に鶴ヶ池で行われる「水中花火ショー」は、鮮やかな彩を水面に映し出し圧巻です。

- 日時 / 平成29年9月17日(日)
- 第1部 いものこまつりin鶴ヶ池 10:00~17:00
- 第2部 花火大会 18:30~20:00頃
- 会場 / 鶴ヶ池公園ふれあい広場(横手市山内土淵字鶴ヶ池地内)
- 問 / いものこまつりin鶴ヶ池実行委員会 TEL.0182-53-2111

よこて菊まつり

愛好者が丹精こめて育てた数千本の菊の花が一堂に集まり、多くの人の目と心を楽しませてくれます。また、全県の「菊花展示大会」も同時開催されます。

- 日時 / 平成29年10月28日(土)~11月6日(月) 9:30~17:00
- 会場 / 秋田ふるさと村
- 問 / (一社)横手市観光協会 TEL.0182-33-7111

真人公園りんごまつり

『りんごの唄コンテスト』や『ミスりんごコンテスト』などが行われます。このほか、リンゴの即売や特産品の販売などが行われます。

- 日時 / 平成29年10月22日(日) 10:00~15:00
- 会場 / 横手市増田町 真人公園
- 問 / (一社)増田町観光協会 TEL.0182-45-5541

第17回平鹿りんご味覚まつり

リンゴの皮むき競争のほか、地域農産物の直売やいものこ汁等の販売が行われます。会場のゆっぶるでは甘い香りのリンゴを温泉に浮かべた、名物『りんご風呂』に入ることができます。

- 日時 / 平成29年11月3日(金・祝) 10:00~14:30
- 会場 / ときめき交流センター「ゆっぶる」(横手市平鹿町醍醐)
- 問 / 平鹿りんご味覚まつり実行委員会 TEL.0182-24-1118

よこてお城山クラフトフェア2017

全国各地から、陶磁、木工、ガラスなど、さまざまなジャンルの作り手が集まるクラフトイベントです。販売・実演・ワークショップなどクラフトを学び、楽しむことができます。今年は67のクラフトブースと10の食品ブースが出店予定。

- 日時 / 平成29年9月30日(土)10:00~16:00
- 10月1日(日)10:00~15:00
- 会場 / 横手公園展望台周辺
- 問 / お城山クラフトフェア実行委員会 (E-mail) info@oshiroyama.net



街ものがたり

～あの日、あの味、あの場所をめぐる～

山内編

幼少期、青春時代とそれぞれ過ごした年代は違っても、ふるさとを想えば胸に去来する『懐かしさ』。そんな淡い思い出を、今と重ねて紹介。みなさんの記憶の中にあるふるさととは、どんな色・味・においをしていますか？

相野々々公園で食べた『いも』の汁の味、今でも思い出出すな！



相野々々ダム(横浜市山内平野沢)

いろんなブドウを食べ比べできるのがうれしい♪



長瀬観光ぶどう園(横浜市山内大沢)
TEL.0182-53-2111(山内地域課)



間近で見ると、その迫力に圧倒される！



筏の大杉(横浜市山内筏)



絵:高橋一親



いぶし小屋から出る煙、今年のいぶりがっこも待ち遠しい！



南郷夢温泉 共林荘(横浜市山内南郷)
TEL.0182-53-2800

日によって色が変わる元湯、美肌の湯としても人気！



雄大な奥羽山脈に囲まれた山内地区には、芝桜が広がる大松川ダムや睡蓮の花が水面に咲く鶴ヶ池など季節を彩る花々に観光客も多く訪れる。横手市街から山内方面に車を走らせると間もなく見えてくるのが、長瀬観光ぶどう園だ。スチューベンなど数種類のブドウ狩りが楽しめる。あつて人気が高い。いものこ汁やおにぎりなどの軽食も販売しており、ブドウ棚の下で食事をするのが長瀬流だ。

秋の風物詩といえはなべっこ遠足。畑で採れたいものこ汁を持ち寄り、鍋や一斗缶をリヤカーに積んで、途中、運搬を交代しながら相野々々ダム近くの公園を目指して歩く。自分たちで火起こしから味付けまで苦労して作ったいものこ汁はうめがったなあ。新米で作ったおにぎりも一緒に頬張る。グループごとに微妙に味が違い、みんなでわいわい食べ比べたのも楽しい思い出。山内いものこ(里芋)は独特の粘り、とろりとした食感が特徴で山内地区自慢の逸品だ。

山内を訪れた際、ぜひ見てもらいたいののが秋田県一の巨木であり、秋田県指定天然記念物の『筏の大杉』だ。樹高43メートル、幹根周囲12メートル、地上約5.5メートルのところまで主幹が東西の支幹に分岐している。比叡山神社の境内に立ち、古来より授乳の神木として祭られている。鳥居をくぐった瞬間、全身を冷やりとした空気が包み、厳粛な気持ちになる。樹齢千年以上といわれる姿は、長い年月を経た今も凛とした佇まいで来訪者を迎えている。

最後に訪れたのは、二つの異なる原泉を持つ天然温泉『南郷夢温泉 共林荘』。本館元湯は、日によって緑色・乳白色・透明など色変わりするという。旅のシメは、やっぱり温泉！湯舟につかったら思わず「ごくらく、ごくらく」と言うこと間違いなし。

いものこ、そば、ブドウ、いぶりがっこのほか、強い甘味が特徴の山内にんじなど味覚の宝庫だ。そんな昔ながらの変わらぬ味わいが、今も大切に受け継がれている山内に、遊びに来てたんせ！

右記QRコードから横手の魅力営業課のYouTubeチャンネルで山内地区散策の様子をご覧いただけます。



なんじが来てくれえ！

平成29年9月▶11月 首都圏で開催される横手関連イベントの情報

※詳細は今後、市HP等でお知らせいたします。

浦安フェスティバル2017

横手市の観光PRと横手やきそばの実演販売。
●開催日/平成29年9月16日(土)・17日(日)
●会場/浦安市総合公園
(新浦安駅から会場まで巡回バスあり)
●問/横手の魅力営業課 TEL.0182-32-2117

丸の内 行幸マルシェ×青空市場

俳優の永島敏行さんが主催する「青空市場」では、都会の真ん中で郷土の食材を買って食べられます。十文字産品を中心に、横手の特産品を地元価格でお届けします。
●日時/平成29年9月29日(金)11:30~
●会場/行幸地下通路(JR東京駅地下道直結)
●問/十文字地域課 TEL.0182-42-5119

OTAふれあいフェスタ2017

地名の「大森」で長年交流のある東京都大田区。大田区最大イベントに今年も出展します！大森町から「うめもの」いっぱい持っていきながら。
●日時/平成29年11月4日(土)・5日(日) 10:00~(予定)
●会場/平和島競艇場内(東京都大田区)
●問/大森地域課 TEL.0182-26-2116

サカガミ横手秋フェア

横手産農産品、加工品の販売など。
●開催日/①平成29年11月23日(木・祝)・24日(金)
②平成29年11月25日(土)・26日(日)
●会場/①スーパーサカガミ清瀬店(清瀬駅・徒歩3分)
②スーパーサカガミ駒込店/霜降銀座商店街(JR駒込駅・徒歩8分)
●問/横手の魅力営業課 TEL.0182-32-2117

まるごとにつぼん 横手市うまいものフェア

47都道府県が集まる「まるごとにつぼん」で横手市フェアを開催します。
●開催日/平成29年11月25日(土)・26日(日)
●会場/まるごとにつぼん(台東区浅草、浅草駅・徒歩10分)
●問/横手の魅力営業課 TEL.0182-32-2117



首都圏増田会

11月19日(日)に総会が開催されます!

11月19日(日)上野のオーラムで総会・懇親会を開催します。毎年増田からいものこ汁や漬物、そしてお酒がどっさり届きます。懐かしいお国訛りが飛びかい、お酒がすすみます。今年は増田出身の黒木悦子さんがステキなシャンソンを披露してくれます。楽しい会にぜひ皆さんご参加ください。参加希望の方は事務局までお電話ください。(役員 越後英雄)



〈主な活動〉総会(毎年11月)、役員会、ふるさと探訪ツアー、研修会など。

〈年会費〉2,000円 〈入会方法〉事務局にご連絡ください。

■代表/会長 佐藤章 ■申込・問・事務局/細野芳之助 TEL.044-722-0263

東京かまくら会

9月9日(土)に総会が開催されます!

平成29年度総会は、9月9日(土)午前11時より千代田区のアルカディア市ヶ谷にて開催されます。当日申し込みも受け付けておりますので、お気軽にお越しください。

今年の総会では、3月に真打ちに昇進した春風亭三朝師匠の落語を堪能していただくことになっております。ふるさと横手の懐かしい物産も例年通り販売しますのでお楽しみください。



↑真剣な中にも和やかな役員会の様子。

〈主な活動〉総会(毎年9月)、役員会(年5回程度)ほか、納涼会、忘年会など。

〈年会費〉2,000円 〈入会方法〉事務局にご連絡ください。

■代表/会長 向山五郎 ■申込・問・事務局/木曾進 TEL.047-321-2518

関東地区大森町ふるさと会

今年の総会も無事終了しました!

年々総会への参加者も増え、今年も20人近くの新入会員をお迎えしました。ふるさと会の輪の広がりを実感しながら、役員一同張り合いをもって来年の総会に向けて頑張っています。総会は来年も上野で開催する予定です。上野の山に大森町がひょっこり出現しますよ。当会に関心をお持ちの大森町出身の皆さん、ちょっとのぞきに来てみませんか?



〈主な活動〉総会(毎年7月)を兼ねた親睦会を開催しています。

〈年会費〉2,000円 〈入会方法〉事務局にご連絡ください。

■代表/会長 佐野章 ■申込・問・事務局/佐野章 TEL.0467-32-1846

東京平鹿町会

ふるさとを結ぶ絆 平鹿中学校との付き合い

東京平鹿町会は、平鹿中学校とのお付き合いをしています。子どもたちに当会の存在を知ってもらい、中学校を卒業した生徒たちが将来都会で生活するようになったとき、我々と同じ思いでふるさとのために活動してもらいたいとの願いを込めてのことです。これまで、平鹿音楽祭や交流座談会、図書購入金の寄付などを通して交流をしてきました。こうした活動を今後も継続的に行っていきたいと思っております。



〈主な活動〉総会(毎年11月)、交流会、役員会、新年会、忘年会など。

〈年会費〉3,000円 〈入会方法〉事務局にご連絡ください。

■代表/会長 公地晃 ■申込・問・事務局/高橋豊 TEL.090-9825-4636



平成28年
第29回総会の様子

昭和62年に山内出身者一同で集会を開くとの連絡があり、出席しました。そして、その年の11月、上野公園で「さんない古里会」が発足しました。山内出身者が多く集まり、にぎわったことをおぼえています。

昭 和35年3月、山内武道から上京し精肉販売の仕事に従事しました。日野市に精肉店を持ち、今も現職として働いております。焼き豚と焼き鳥が近所の皆さんには喜ばれています。

上京した当時は、日本中の人たちが「働け働け」の時代でした。休みは、盆と正月くらいしかありませんでした。好景気の時は、それこそ商売大繁盛で、今では夢のような時代でした。食品と言えば生鮮3業種、肉屋・魚屋・八百屋しかありませんでした。もちろん苦労もありましたが、楽しい人生を過ごしております。

精肉業、ひとすじ



さんない古里会
会長 北島菊松
山内武道出身



東京都日野市日野にて
北島精肉店を経営

第30回記念総会 開催

■日時/11月4日(土)11:00~
■会場/上野精養軒
年会費 2,000円 懇親会費 8,000円

〈主な活動〉

総会(毎年11月)役員会(年7回)など。
〈年会費〉2,000円
■代表/会長 北島菊松
■申込・問・事務局/岩崎富美江
TEL.03-3684-5594

今年はおかげさまで、さんない古里会創立30周年を迎えます。11月4日(土)には記念総会を開催する予定です。会長としての重責を痛感しつつ、役員と力を合わせながら準備を進めているところであります。こうして30周年を迎えられるのも、会員皆さんや横手市各ふるさと会、関係者のお陰と改めて感謝申し上げます。今後ふるさと会の絆をより一層深め、大事にしながら会のために頑張る所存です。

今年はおかげさまで、さんない古里会創立30周年!

初代会長に永沢五郎氏が就任し、会長として「さんない古里会」を盛り上げ、持続してくれました。会長の頑張りや間近でみていただくことを学ばせていただきました。その後、平成21年から2代目の会長を仰せつかり、8年目を迎える現在に至っております。山内地域局との意見交流会やふるさと山内での「花火大会」に協賛し、ゲームコーナーなどを担当しながら、まつりを盛り上げています。



式秀部屋 阿部桜 (横手市平鹿町出身)
東序二段七十三枚目
(平成29年7月場所 4勝3敗)

九月場所は対戦相手も今まで以上に強いと思うので、自分の相撲を取って勝ち越します。



時津風部屋 将豊竜 (横手市十文字町出身)
西三段目九十八枚目
(平成29年7月場所 6勝1敗)

先場所、千秋楽で負けてしまったリベンジを果たすため、来場所は全勝を目指して頑張ります。



時津風部屋 力斗 (横手市平鹿町出身)
東幕下三十枚目
(平成29年7月場所 0勝7敗)

先場所は思うような結果を出せず悔しい思いでいっぱいでした。ケガを治して、早く幕下に復帰できるように頑張ります。

がんばれ!
ふるさと出身力士

※平成29年7月場所現在の番付



ふるさとと横手の応援を よろしく願いいたします!



横手市長 高橋 大

地域づくり支援課スタッフ

～横手市のふるさと納税がさらに利用しやすくなります～

横手市では、ふるさと納税の取り組みの拡大を図り、全国の皆様からふるさと納税で応援していただくことにより、横手ファンの拡大、地元企業、地域産業の活性化を目指しています。

平成28年度は、約6500件、1億円超のご寄附を頂戴し、今後、市で行う様々なまちづくり事業に活用させていただきます。

そして今年度は、さらに横手市の魅力を全国に向けてPRし、ふるさと納税を通じて横手とのつながりを築いていただくため、返礼品の充実と、ふるさと納税受付サイトの拡充を図ります。申込者の利便性を高めるため、9月から新たに「さとふる」での受付を開始。「わが街ふるさと納税」「ふるさとチョイス」と合わせてインターネット上の受付窓口が3つになりました。

より便利で魅力的になった「横手市ふるさと納税」を通じて、横手市の応援をよろしく願います。

横手っていえば...? そうだ!「雪」を贈ろう

7月上旬、物産団体連絡協議会事業部会メンバーを中心とした、新たなふるさと納税返礼品を作るためのプロジェクトチームが発足。会議では横手らしい返礼品を開発するために活発な意見交換がされました。検討の結果、水神様が祀られた「横手のかまくら」の雪をお届けする「神宿る雪」かまくら宅配便(仮称)と、横手の雪の中で貯蔵したりんごと、横手の雪の中でお届けする「雪中貯蔵 春待ちりんご(仮称)」の2種類の返礼品開発を決定!

私たちが横手らしい返礼品を作ります!



本物の横手のかまくらをお届け
～神宿る雪～かまくら宅配便(仮称)



横手の雪で貯蔵します!
雪中貯蔵 春待ちりんご(仮称)



〈発送時期〉
2018年2月下旬～3月頃
※写真はイメージです。

横手市物産団体連絡協議会事業部会[omoché]のメンバーと横手の魅力営業課スタッフ

新たな返礼品開発の進捗状況は、随時横手市物産団体連絡協議会Facebookページでお伝えしていくとのこと。どんな返礼品が完成するのか、楽しみです!

さとふる ふるさと納税を推進し、地域活性化を促進するための総合サイトです。
<http://www.satofull.jp/>



下記のサイトからもお申し込みいただけます。

わが街ふるさと納税



<http://www.citydo.com/furusato/>

ふるさとチョイス



<https://www.furusato-tax.jp/>

大雨災害に対する寄附金の緊急受付について(お願い)

平成29年7月22日・23日の記録的な大雨により、横手市内でも大きな被害が発生しました。

市では、関係機関やボランティアの皆様と協力し、被災者支援および復旧作業等に全力であたっております。

また、全国各地からもお見舞い、励ましのお言葉をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

このような状況の中、横手市に直接足を運ぶことなく支援の気持ちを届けていただける方法として、ふるさと納税制度による、災害支援寄附金の受付を開始いたしました。

受付は、「ふるさとチョイス」災害支援ページにて行っております。

この災害支援ページからいただいた寄附金については、全額被災者支援および早期復旧を図る事業に充てさせていただきます。

【留意事項】

- ◎本件は災害支援を目的とし、ご寄附に対して返礼品を送付いたしませんので、ご了承ください。
- ◎緊急的な寄附受付のため、クレジットカード決済限定となります。

※ご寄附いただいた方には後日「寄附金受領証明書」をお送りいたします。ふるさと納税による寄附として、寄附者様の税額控除にお使いいただけます。



災害支援

<https://www.furusato-tax.jp/saigai/>

横手市のふるさと納税は、『さとふる』『わが街ふるさと納税』『ふるさとチョイス』の3つのサイトからお申し込みいただけます。

お問い合わせ 横手市役所まちづくり推進部地域づくり支援課 TEL. 0182-35-2266 FAX. 0182-32-2611

読者プレゼント

1～4の商品をそれぞれ2名様にプレゼントいたします。いずれも実際にふるさと納税の返礼品として提供されているものです。

- 1 国産自家採集はちみつ2種詰め合わせ (アカシア300gピッチャー入り、トチ600g瓶入り) ◎提供/安土養蜂園
- 2 十文字玉手箱 (十文字地区特産品詰合せ) お菓子セット、十文字ラーメン、焼肉のタレ ◎提供/十文字町物産協会
- 3 発酵文化の町の味噌・醤油セット ◎提供/合名会社内藤醤油店
- 4 シルクポーク角煮・ギョーザセット ◎提供/株式会社フカサワ

〈応募方法〉①住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号 ⑤希望プレゼント番号(第1希望、第2希望) ⑥よこてfun通信の感想 ⑦横手の思い出を明記の上、下記までご応募ください。

◎官製ハガキでご応募の場合 〒013-0036 秋田県横手市駅前町1番10号 横手の魅力営業課「よこてfun通信 プレゼント」係 ◎メールでご応募の場合 E-mail:yokote-fun@city.yokote.lg.jp 件名「よこてfun通信 プレゼント」

【個人情報の取り扱いについて】
◎応募ハガキで得られた個人情報は発送目的以外に利用することはありません。商品はずべて提供先からの発送となります。お届け先情報のみ提供先へ通知させていただきます。
◎ご応募の受付・受理、ご当選の確認に関するお問い合わせにはお答えできません。
◎当選者は厳正なる抽選の上、決定いたします。発表は当選者様への発送をもって代えさせていただきます。

応募締切
9月20日(水)
消印有効

CHECK

横手市の物産&特産の最新情報を更新中!

横手のいいモノ、うまいモノを日本各地、いや世界各国の方に届けられるようフェイスブックを更新中!

ぜひご覧ください!



横手市物産団体連絡協議会



発行/横手市 問い合わせ/横手市役所 商工観光部 横手の魅力営業課 〒013-0036 秋田県横手市駅前町1番10号(よこてイースト内) TEL.0182-32-2117 FAX.0182-36-0088 E-mail:yokote-fun@city.yokote.lg.jp

次回の発行は、2017年12月を予定